

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語ⅢA (English ⅢA)					担当教員	伴 浩美 (バン ヒロミ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目 TOEIC/知識 定着・確認型 A
	2011-0-31-013	教養科目	必修	2単位	3年次	通年		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目 TOEIC/知識 定着・確認型 AL
	2411-0-31-011	教養科目	必修	2単位	3年次	通年		

① 授業のねらい・概要					
3年次配当科目「英語ⅢAクラス」は、「TOEICテスト」対策を念頭に置きながら、練習問題を解くことにより、就職試験等の筆記試験を突破できる程度の英語力を身につけることを目指す。TOEICテストに対応した中級応用レベルの科目である。					
② ディプロマ・ポリシーとの関連					
コミュニケーション能力					
③ 授業の進め方・指示事項					
1. 練習問題を数多く解いて、答え合わせ、解説を行う。必要に応じて、関連する補足説明も行う。 2. わからない単語は事前に辞書で調べてくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。					
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能					
特になし					
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。					
(前期) 椋平淳ほか(2013) <i>AFP Science Report</i> (AFPで知る科学の世界)、成美堂 (後期) プリント使用					
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。					
Educational Testing Service (2025) 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 12』 国際ビジネスコミュニケーション協会					
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)					
1. 授業内容を記したシラバスをよく読み、自主的に予習・復習をしっかりと、教室以外での勉強時間を十分確保すること。 2. 「失格」評価にならないよう出席に関して、しっかり自己管理を行うこと。					
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安					
(1) 中級応用レベル程度の英語を理解できる。助動詞、進行形、完了形、受動態、不定詞、動名詞、分詞構文、仮定法等の重要項目を用いた比較的難易度の高い英語を理解し、運用できる。 (2) 指定テキストを理解するのに必要な文法用語を理解できる。					
⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1) 中級応用レベルの英語の理解	中級応用レベルの英語の理解・運用が自力ででき、授業内容を越えた学習成果を示している。	中級応用レベルの英語の理解・運用が自力ででき、テキスト記載の内容をよく理解している。	中級応用レベルの英語の理解がある程度自力ででき、教員等の支援を受ければ運用もできる。	中級応用レベルの英語の理解が十分とは言えないが、教員等の支援を受ければ理解できる。	中級レベルの英語の理解が、授業を受けてもできない。
(2) 文法用語の理解	テキストを理解するのに必要な文法用語を理解しており、テキスト内容を越えた学修成果を示している。	テキストを理解するのに必要な文法用語を、自力でわかる。	テキストを理解するのに必要な文法用語を、教員等の支援を受ければ理解できる。	テキストを理解するのに必要な文法用語の理解は不十分であるが、基礎的な文法用語は問題なくわかる。	基礎的な文法用語すらわからない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	85%				15%		100%	
(1) 中級応用レベル程度の英語の理解	85%						85%	
(2) 文法用語の理解					15%		15%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	学習の進捗状況を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、授業内容の関連個所での解説時に配慮する。補足プリントを配布することもある。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	前期の授業についてのガイダンス	Unit 2 の予習						90 分
2	Unit 2: Net Surfing for Robots	Unit 2 の復習、Unit 3 の予習						90 分
3	Unit 3: Flying Solo	Unit 3 の復習、Unit 5 の予習						90 分
4	Unit 5: A New Dimension in Printing	Unit 5 の復習、Unit 6 の予習						90 分
5	Unit 6: New York's New Tower	Unit 6 の復習、Unit 7 の予習						90 分
6	Unit 7: 3D Fireworks	Unit 7 の復習、Unit 9 の予習						90 分
7	Unit 9: Gambling on the Dreamliner	Unit 9 の復習、Unit 10 の予習						90 分
8	Unit 10: Wrap around Cinema	Unit 10 の復習、Unit 11 の予習						90 分
9	Unit 11: Robotic Seniors	Unit 11 の復習、Unit 12 の予習						90 分
10	Unit 12: Restoring the Ruins	Unit 12 の復習、Unit 14 の予習						90 分
11	Unit 14: Get Wells Soon!	Unit 14 の復習、Unit 16 の予習						90 分
12	Unit 16: Space Shuttle's Final Farewell	Unit 16 の復習、Unit 17 の予習						90 分
13	Unit 17: Happy Feet to Start Walking Soon	Unit 17 の復習、Unit 20 の予習						90 分
14	Unit 20: Robot on Mars	Unit 20 の復習						90 分
15	前期のまとめ	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習						90 分
16	後期の授業についてのガイダンス	ニュース 1 の予習						90 分
17	ニュース 1	ニュース 1 の復習、ニュース 2 の予習						90 分
18	ニュース 2	ニュース 2 の復習、ニュース 3 の予習						90 分
19	ニュース 3	ニュース 3 の復習、ニュース 4 の予習						90 分
20	ニュース 4	ニュース 4 の復習、ニュース 5 の予習						90 分
21	ニュース 5	ニュース 5 の復習、ニュース 6 の予習						90 分
22	ニュース 6	ニュース 6 の復習、ニュース 7 の予習						90 分
23	ニュース 7	ニュース 7 の復習、ニュース 8 の予習						90 分
24	ニュース 8	ニュース 8 の復習、ニュース 9 の予習						90 分
25	ニュース 9	ニュース 9 の復習、ニュース 10 の予習						90 分
26	ニュース 10	ニュース 10 の復習、ニュース 11 の予習						90 分

27	ニュース 11	ニュース 11 の復習、ニュース 12 の予習	90 分
28	ニュース 12	ニュース 12 の復習、ニュース 13 の予習	90 分
29	ニュース 13	ニュース 13 の復習	90 分
30	後期のまとめ	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習	90 分
⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL を採用する。練習問題を解き、要点を解説することによって、知識の確認及び定着を目指す。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性